

## 平成 30 年度入学試験問題(前期)

# 国 語

### 【注 意 事 項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 本冊子には、一から三までの 3 問題が印刷されていて、合計 14 ページある。  
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙を別に配布している。解答は、解答用紙の指定された箇所に記入すること。所定の箇所以外に記入したものは無効である。
4. 解答の字数を指定している場合、句読点や符号やかっこ等もそれぞれ一文字分に数える。
5. 解答用紙の指定された欄に、学部名および受験番号を記入すること。
6. 配布された解答用紙は、持ち帰らないこと。
7. 配布された問題冊子は、持ち帰ること。

— 次  
次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

(水島治郎『ポピュリズムとは何か』本文の一部を改変)

問(一) 傍線あゝおの漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

あ 寛容      い 声高      う 牙城      え 是認      お 峻別

問(二) 傍線カゝコのカタカナを漢字に直しなさい。

カ キンシユク      キ チンモク      ク ドクサイ      ケ カゲキ      コ キレツ

問(三) 空欄 a      b      c      d に入る最も適当な語句を次より選び、それぞれ記号で答えなさい(それぞれの記号は一度

しか使わない)。

ア しかし      イ なせなら      ウ すなわち      エ また      オ たとえば

問(四) 本文中の空欄  には同じ語が入る。この語について説明している次の文の 1、4 にあてはまる語句をそれぞれの選択肢より選び、記号で答えなさい。次いで空欄  に入るひらがな三文字の語を 5 に書き入れて文を完成させなさい。

2  
空欄  に入る語は下に続く語や文の意味を 1  
ア 曖昧にする イ 強調する 役割をしていて、ここでは  
ウ ややもすると エ 間違いない 才 恐らく という情報を補っている。この語の品詞は 3  
ク 名詞 であり、4  
ケ 活用する コ 活用しない 空欄  に入る最適な語は 5  
カ 副詞 キ 形容詞 である。

問(五) 傍線 1「イデオロギー」における『薄さ』とあるが、本文ではどのようなことを「薄さ」としているか。四十字以内で答えなさい。

問(六) 傍線 2「討議ではなく喝采を優先」とあるが、なぜそのように理解されることがあるのか。最も適当な説明を選択肢から選び、記号で答えなさい。

- ア デモクラシーに対して否定的・批判的であると見られがちだから
- イ 既成の政治家はポリテイカル・コレクトネスに縛られているから
- ウ 物議をかもしながら既成の制度に人々の声をぶつけるように見えるから
- エ 議会や官僚制・司法制度をはじめとする政治行政制度への不信が強いから
- オ 政治的配慮に縛られて明確な主張を述べることに躊躇しがちだから



問(七) 傍線3「デモクラシーの理念そのものと重なる面が多い」とはどういうことか。七十字以内で説明しなさい。

問(八) 傍線4「ポピュリズムはデモクラシーの発展に寄与するといえるのか」との問について筆者はどのように考えているか。

(1) それを示す言葉を文中より漢字三字で抜き出さない。

(2) また筆者がそのように考える理由を八十字以内で説明しなさい。

問(九) 空欄 Y に入る最も適当な選択肢を選び、記号で答えなさい。

ア 中傷され非難を浴びせられている

イ 保護され守られている

ウ ないがしろにされている

エ 大いに評価されている

オ 敬して遠ざけられている

問(十) 傍線5「人民というまとまりを持った集合」について、この集合の説明に近い部分を、本文中であげられているカノヴァンの「人民」についての説明から二十五字以内で抜き出さない。

問(十一) 傍線6「政治というものの持つ対立的な側面を呼び起こす」について、このことが引き起こす結果を否定的に説明している箇所がある。その部分を本文中より十五字で抜き出さない。

— 次  
— 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

〔義経記〕巻一「遮那王殿鞍馬出の事」より

(注) ○左馬頭 — 源義朝。平治の乱で敗走し、殺された。 ○秀衡 — 藤原秀衡。奥州平泉藤原氏の三代目。

○吉次 — 奥州と行き来する商人。 ○粟田口 — 京都から東海道に通じる場所。

○十禅寺 — 粟田口にある青蓮院の鎮守社の日吉十禅師社のこと。 ○遮那王 — 源義経のこと。

○少進坊 — 源義経の支援者。 ○善悪 — 是非とも。

問(十二) 傍線ア・イについて、アは誰を「連れて」、イは「さる者」が誰かを明確にしつつ、現代語訳しなさい。

問(十三) 傍線A「烏帽子の先を地につけて申しけるは」とは、どのような様子を表しているか。次の中からふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア ひどく驚き、倒れ伏している様子。

イ つらい気持ち、隠している様子。

ウ 深く反省し、必死に謝っている様子。

エ かしこまり、丁寧に申し上げる様子。

オ 深く嘆き、悲しみに耐えている様子。

問(十四) 二重傍線a「宿直」、b「帷子」、c「直垂」の読み方を答えなさい(歴史的仮名遣いを使用すること)。

問(十五) 二重傍線d「平時」とは、どれくらいの時間か。次の中からふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 十五分      イ 三十分      ウ 一時間      エ 二時間      オ 六時間

問(十六) 波線1～4の敬語表現について、その文法的説明を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 尊敬の動詞

イ 尊敬の補助動詞

ウ 謙譲の動詞

エ 謙譲の補助動詞

オ 丁寧の動詞

カ 丁寧の補助動詞

問(十七) 傍線B「心の内ばかりに出で立ち給ひけり」とはどういうことか。次の中からふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

い。

ア 人目につかないように、こっそりと出発したということ。

イ 旅に出る決意を、師僧にだけは伝えることにしたということ。

ウ 旅に出るための支度を、そと心の中だけで行ったということ。

エ 色々迷っていたが、ようやく出発する決心を固めたということ。

オ 実際に旅には出られないので、出発した気持ちにだけなったということ。

問(十八) 傍線C「涙にむせび給ひけり」とあるが、なぜ悲しんでいるのか、三十字以内で説明しなさい。

問(十九) 傍線D「出で立ち給ひけるが」とあるが、遮那王が出発した理由は何か。次の中から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

で答えなさい。

ア 長らく会うことができなかつた両親に会いに行くため。

イ 代々のかたきである、都にいる平家を攻撃するため。

ウ 父のかたきである秀衡を、今度こそ討ち取るため。

エ 吉次からの申し出から、ひそかに逃れるため。

オ 自分のことを気にかけてくれている秀衡を頼るため。

問(二十) 傍線E「京にぞ留められける」とあるが、遮那王が少進坊を都に留めた理由を、三十字以内で説明しなさい。

三二 次の文章は、孟子と斉の宣王との問答である。これを読んで、後の問いに答えなさい（設問の都合で本文中の返り点、送り仮名を省略したところがある）。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

〔孟子〕梁惠王上

(注) ○胡斲——斉の宣王の近臣。

○罍鐘——鐘などを鑄造したとき、いけにえを殺し、その血を塗るといふ呪術的な儀式。

○般棘若——オドオドとおびえるさま。 ○百姓——多くの人々。群臣ないし民衆。 ○愛——物惜しみする。

○褊小——狭く小さい。 ○異——不思議に思う。怪しむ。 ○隱——憐れむ。同情する。

○傷——気に病む。憂える。 ○仁術——思いやりのある振る舞い。 ○庖厨——台所。調理場。

問(二十二) 傍線——について、「諸」が指している内容として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 王が、堂上から見おろしていたとき、堂下をいけにえの牛が通ったということ。

イ 王が、鐘を鑄造したときに動物の血を塗る儀式を実施せよと命じたということ。

ウ 王が、いけにえとして殺される動物を牛の代わりに羊にせよと命じたということ。

エ 王が、鐘を鑄造したときに動物の血を塗る残酷な儀式を中止させたということ。

問(二十二) 空欄 **A** と **B** に入る最も適当な語を次より選び、それぞれ記号で答えなさい。

イ 善      ロ 低      ハ 悪      ニ 大      ホ 小      ヘ 高

問(二十三) 傍線2について、孟子の主張を説明しなさい。

問(二十四) 二重傍線 a と c について、読み方をそれぞれ平仮名で書きなさい(現代仮名遣いでもよい)。

問(二十五) 傍線3は、「我其の財を愛みて之に易ふるに羊を以てするに非ざるなり」と読む。この読み方に従って、返り点をつけなさい(送り仮名は不要)。

問(二十六) 傍線4について、王のとつた行動に対して孟子がこのように言った理由を説明しなさい。